

鷲山遺跡群発掘調査現地公開資料

平成17年1月15日（土）於 正明寺城之前遺跡
 主催 岐阜市教育委員会 社会教育室
 （財）岐阜市教育文化振興事業団
 埋蔵文化財調査事務所

はじめに

区画整理事業に伴う鷲山遺跡群での発掘調査も今年度で6年目となります。調査面積は計約1,500㎡で、現在も3ヶ所で調査を行っています。本日は、正明寺城之前遺跡で見つかった成果から、当時の人々の生活の一部を復元したいと思います。

正明寺城之前遺跡B4, 5区・C1区の成果

〔鎌倉時代～戦国時代の痕跡〕

- ・屋敷を区画していた溝（鎌倉時代 B5区）
- ・大きな柱穴（戦国時代 B4区）

〔古墳時代～奈良・平安時代の痕跡〕

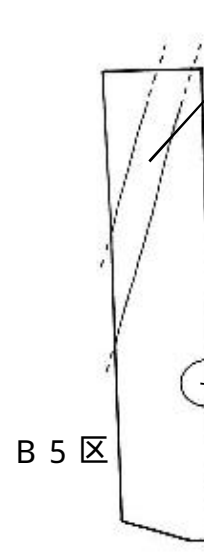
- ・竪穴住居跡（古墳時代 B4区、C1区）
- ・大きな溝（奈良・平安時代 B4区）
- ・平行する2本の溝（奈良・平安時代 B4区）

正明寺城之前遺跡について

- ・古墳時代 - 集落区域と祭祀区域の土地の使い分け
- ・奈良・平安時代 - 集落区域と工房の土地の使い分け
- ・水辺の祭祀について（D3, 4区）

おわりに

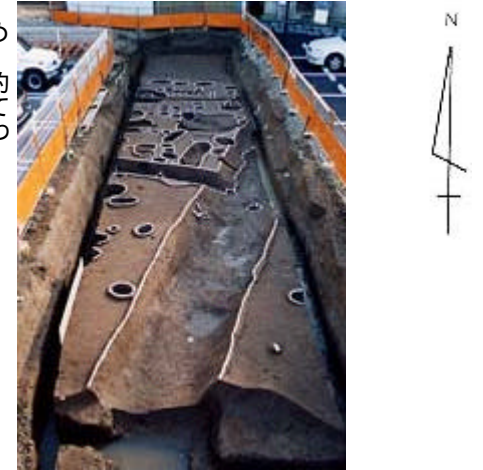
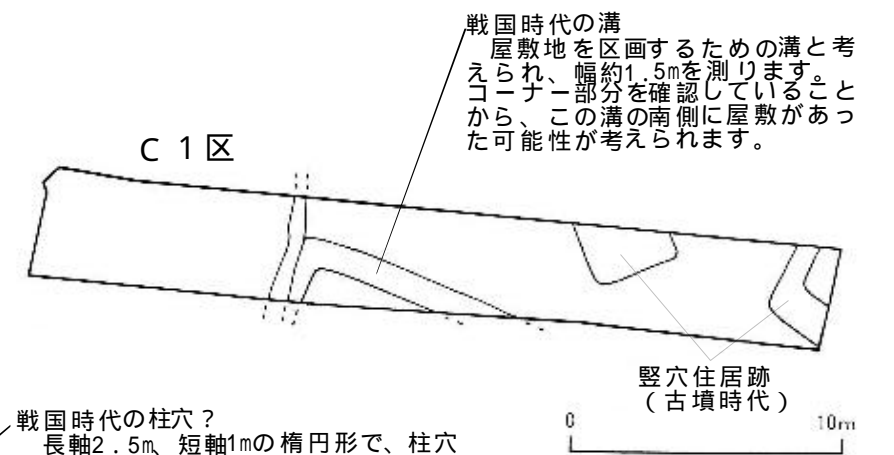
今年度の調査でも、古墳時代～戦国時代の多くの成果が得られました。中でも古墳時代～奈良・平安時代の正明寺城之前遺跡の利用の状況やそこで行われた祭祀の様子が分かったことは大きな成果です。今後も発掘調査は続きますので、まだ多くの発見があると思います。



鎌倉時代の溝
 おそらく屋敷地を区画するための溝と考えられ、幅約1.5mを測ります。厚さが40cmもある人工的な盛り土が成された後に造られており、当時に大規模な工事が行われていたことが分かりました。

鎌倉時代のゴミ捨て穴？
 鎌倉時代に一般的に使われた山茶碗と呼ばれる食器が数点出土しました。周辺に焼けた土が広がっていることや、山茶碗の中には完形品もあるため、ゴミ捨て穴ではないかもしれません。

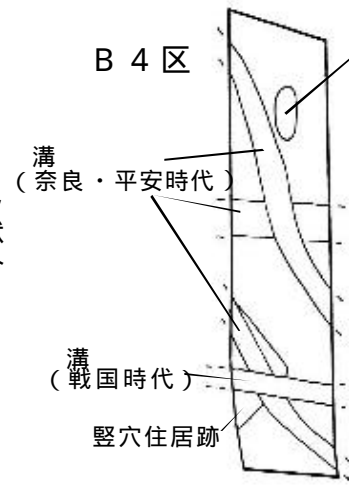
B 5 区

戦国時代の溝
 屋敷地を区画するための溝と考えられ、幅約1.5mを測ります。コーナー部分を確認していることから、この溝の南側に屋敷があった可能性が考えられます。

C 1 区

竪穴住居跡
 （古墳時代）




戦国時代の柱穴？
 長軸2.5m、短軸1mの楕円形で、柱穴としてはかなり大きなものです。穴の底部付近には板材3本が並べ置かれています。太く立派な柱が立っていたと考えられます。

溝
 （奈良・平安時代）

溝
 （戦国時代）

竪穴住居跡






下土居若宮遺跡B 2区
古代の溝、戦国時代の溝、
柱穴などが見つかりました。



溝

下土居若宮遺跡

下土居北門遺跡

正明寺城之前遺跡D 4区
戦国時代の区画溝など
が見つかりました。L字
に曲がるものや土師器皿
が多く出土するものが
見つかりました。



区画溝



区画溝

正明寺城之前遺跡

鷺山仙道遺跡A 3・4区
戦国時代の桶積み井戸、
鑄造作業に関わる遺構や
遺物が多く出土しました。



鑄造作業に関わる遺構

鷺山仙道遺跡

鷺山市場遺跡G 3区
狭い調査区の中で、
竪穴住居が約10棟、その他
戦国時代の区画溝が見
つかりました。



区画溝

鷺山市場遺跡



竪穴住居跡



井戸



区画溝

鷺山市場遺跡E 2・J区
古墳時代から奈良平安時代の井戸や
竪穴住居跡、戦国時代の区画溝など
が見つかりました。





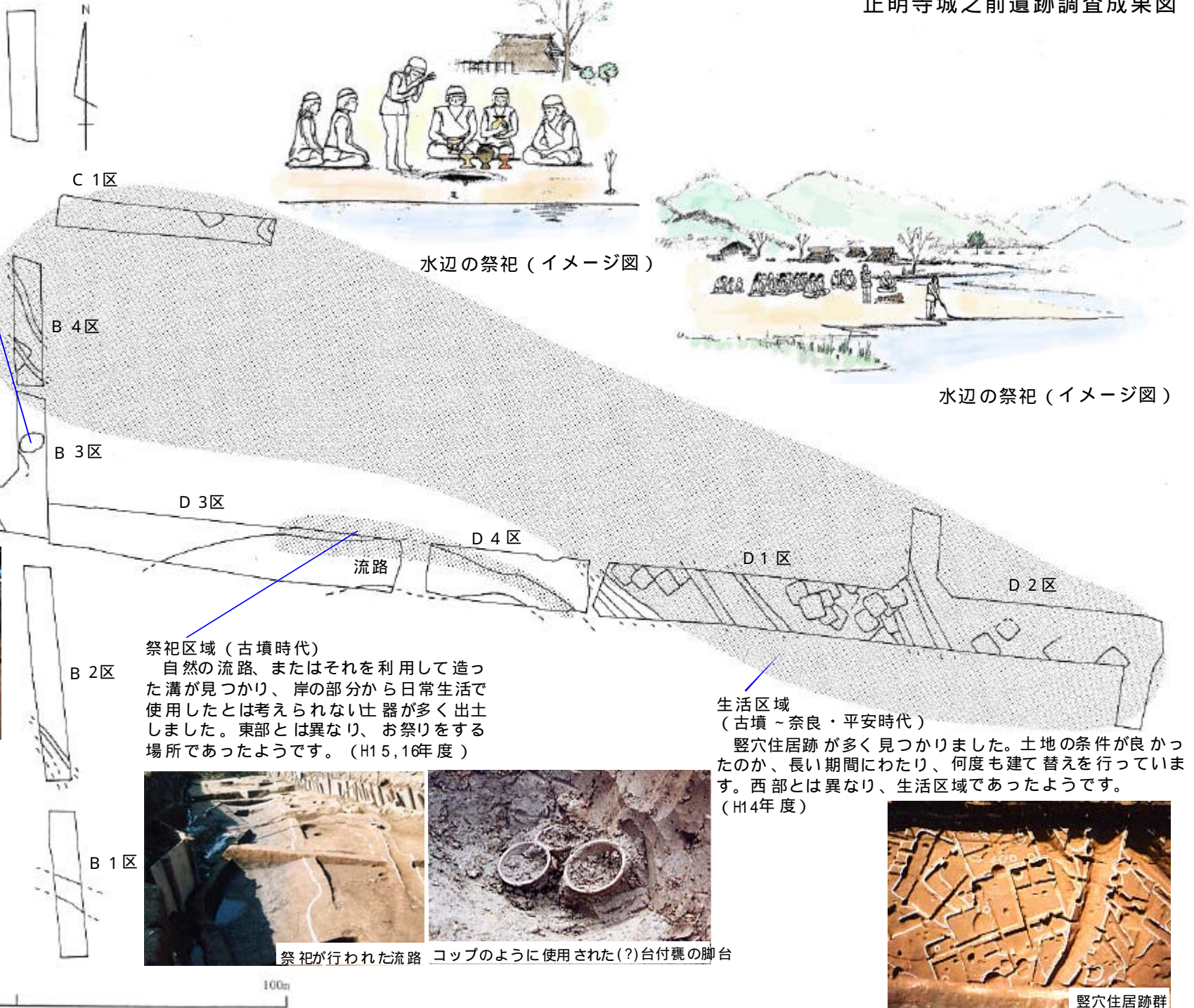
焼塩土器集中土坑
焼塩土器集中出土土坑・掘立柱建物

(奈良・平安時代)

伊勢湾で作られた塩を再度加熱し、水分をとばすための土器が大量に出土しました。この発見により、塩の流通の仕方が見直されました。(H14年度)



掘立柱建物



水辺の祭祀 (イメージ図)



水辺の祭祀 (イメージ図)

祭祀区域 (古墳時代)

自然の流路、またはそれを利用して造った溝が見つかり、岸の部分から日常生活で使用したとは考えられない土器が多く出土しました。東部とは異なり、お祭りをする場所であったようです。(H15,16年度)



祭祀が行われた流路



コップのように使用された(?)台付甕の脚台

生活区域

(古墳～奈良・平安時代)

竪穴住居跡が多く見つかりました。土地の条件が良かったのか、長い期間にわたり、何度も建て替えを行っています。西部とは異なり、生活区域であったようです。(H14年度)



竪穴住居跡群